“フッ化物洗口”でむし歯を予防！

小・中学校「フッ化物洗口」ボランティア募集

フッ化物洗口のようす（阿蘇小）

フッ化物洗口ってなに？

「フッ化物洗口」とは、むし歯予防に効果があると言われているフッ素（フッ化ナトリウム）を用いた虫歯予防法です。
フッ素の高い効果を世界保健機関（ＷＨＯ）や厚生労働省などの専門機関が認め、熊本県ではフッ化物を用いたむし歯予防を推奨しています。市では、満３歳までに「フッ素塗布」、園児に週５回、小・中学生に週１回の「フッ化物洗口」を行っています。

市は、保健事業の一環として満3歳になるまでの子どもを対象に『フッ素塗布』券の配布や、保育園や幼稚園での『フッ化物洗口』を行ってきました。

フッ化物を使ったむし歯予防は、永久歯がほぼ生えそろう14歳頃までの時期に行うことが最も効果が高いとされており、平成26年度からはフッ化物洗口の対象を全小・中学校の児童・生徒に拡大し実施しています。

本市では、このフッ化物洗口をボランティアの方々に協力していただき実施しています。現在、各学校に5人から10人ほどの方々に協力いただいていますが、継続した運営を続けていくためには多くのボランティアが必要です。

子どもたちの「歯の健康」は、将来にわたる「身体の健康」につながります。皆さまのご協力をお願いします。

●協力者紹介／私たちがボランティアをやっています！

古城小では、毎週月曜日の朝に実施しています。
現在はボランティア３名で運営しています。
保護者の皆さん、地域の皆さん、ご協力をお願いします。

古城小ボランティアの皆さん

阿蘇西小では、毎週水曜日の朝に行っています。現在は４人で運営していますが、毎回楽しく実施しています。
難しい作業などはないので、校区の皆さんお気軽に協力願います。

阿蘇西小ボランティアの皆さん

ボランティア募集のご案内

学校規模に関わらず全ての小・中学校のボランティアが不足しています。毎週曜日を決めて行いますが、毎回ご協力いただけなくても構いません。皆さまのご協力をお願いします。

●**募集対象**　市内全小・中学校
●**人員資格**　保護者・地域住民など
●**募集期限**　随時
●**実施時間**　午前７時 30 分頃～８時 30 分頃

※一部の時間帯のみの協力でも構いません。（最も人手を要するのは児童・生徒の登校が集中する午前８時前後です。）
※専門的な知識の習得や、難しい作業をお願いしたりすることはありません。
※詳細は教育課学務１係（☎ 22-3229）にお問い合わせください。

©2010 熊本県 くまモン

作業の手順と内容

1 洗口液をつくる

専用のボトルに、洗口剤と水道水を混ぜ合わせます。

2 １人１人のコップへ分注

約 10cc の洗口液を紙コップに分注します。

3 うがいの実施

全員にコップが渡ったら、音楽に合わせて１分間うがいを行います。終わったら同じコップに吐き出させます。誤飲に注意するよう監視が必要です。

4 コップの回収・片付け

使用したコップをゴミ袋に入れて回収します。

阿蘇小では、毎週水曜日の朝に家庭科室でフッ化物洗口を実施しています。学校での子どもたちのようすなども見られてとても楽しいです。人数が不足していますので、より多くの方々のご協力をお待ちしています。

毎週火曜日の朝、学年を分けて３ヵ所で行っています。
宮地小は児童数が多いため、ボランティアの数が不足しています。応援、ご協力をお待ちしています。

阿蘇小ボランティアの皆さん

宮地小ボランティア
永野さん